

第30回全国手話通訳問題研究討論集会 in



速報9号

実行委員会からの連絡事項

飲み物は下記の場所で販売しております。

テニスコート前・正門にある体育館、全通研販売ブース（大阪手話通訳問題研究会）



各分科会報告

第7分科会

今回、初参加の討論集会です。（これが最初で最後になってしまうことが残念です）こういった形式で行われるのかも知らないままの参加なので、論点の外れた感想かもしれませんが、実際に各支部で行われている活動の発表とは思えない程の充実した内容に驚きの連続でした。また、Drが通研の会員として在籍し、活動されているという層の厚さにも感動し、うらやましくもありました。今回、一番興味があったのがDrの発表でした。各市町に1箇所だけでも手話ができるDrがいる病院があれば、ろう者も安心して受信できるのに・・・と思います。また、「医療者側に理解を深めてもらう」という気づきもありました。そこまでに至らないまでも、ろう者の知識不足を補っていくことは、私たちでもできることなので、少しずつの取り組みが大切だと感じました。今回の要望にもあったように、全日本ろうあ連盟の現況調査も一緒に進めて行けたら、ろう者の健康向上につながるな、と思いました。（一般 愛媛県）

歯科受診の内容はデータも示されとても良かった。他の地域へも広がってほしい。（小出さん）

レポート報告から・・・医療班が核となって、地域の健康を守る取り組みが進んでいる。課題も明らかになっている。各地の取り組みを共有して、これからの活動に活かしてほしい。司会

冬集会で医療の分科会参加は2回目です。レポート報告は兵庫と大阪、いずれも歯科検診、口腔衛生についての内容が、歯への関心、意識を高めるための取り組みの発表でした。参加者から取り組みに対する費用や苦勞など質問があり、歯科に対する関心の高さが伺えました。

山口と島根は医療班の活動、学習会や行事での取り組みについての発表で、他地域での取り組み、工夫をした医療班活動内容を知る事が出来た分科会でした。一般 兵庫県

第8分科会

2/15(土)第8分科会の参加も初めてなら、司会担当も初めてのこと。先輩司会者と共同研究者の方に全面的にオンブ。

レポートは1本だけ。淋しい気もするが、教室ギッシリの参加者には嬉しい(?)。共同研究者の提案で、9つのグループに分かれてのすすめ方。少人数で意見が出しやすかったのでは・・・と思う。労働の問題は切実な思いのある感。討議の場がなくなることも、ちょっと残念です。明日の話にも期待。司会 福島県

分科会開始早々、今後、労働の分科会がなくなるというショックなニュースがありましたが、今回のこの分科会は例年以上の参加者です。大阪からのレポート報告、そのあと、グループ討議と続き、活発な議論と様々な意見交換がありました。毎回参加して思うのは、労働の分科会は本当に勉強になります。討議の柱も確認できました。みなさん明日もがんばりましょう！一般 和歌山県

去年から続けて来ました。「労働にしおり」を初めて拝見し、こちらの地方にも欲しい気持ちです。報告者2名もわかりやすく、丁寧でした。9つのグループ討議で「労働のしおり」について話し合った自体たいへん良かった。他県の方々から、いろんな役に立つ情報等を聞いて、クオリティが高い分科会だと思いました。続けていただけたらな～と願っております。本当にありがとうございました。広島県

第9分科会

第9分科会は静岡県手話サークル連絡協議会（以下サ連）の取り組みについて、現状と課題のレポート発表をいただきました。発表のあとは参加者の地域の都道府県サ連について、組織体制について、運営方法について、課題についてなどの状況を報告いただきました。それぞれの報告の中で共通して課題として出されたのは役員のみ手の確保と人材育成について、役員会や行事にかかわる時の交通費の保証をするための運営費の確保についてでした。今日はそれぞれの状況を報告していただきながら情報交換を行いました。明日は討議の柱を中心にサークルの役割について話し合う予定です。司会、田中

静岡だけでなく、他の県（大阪、三重、奈良、東京）とかの報告を有ったので、とても良かったです。

どの地域も、サ連の運営費や役員選出について迷っている事が分かりました。明日は、サークルの活動意味や運営などについて話し合いが行われる予定なので今から楽しみです。一般 石川県

静岡からのレポート報告で、県域が広大なため、県サ連で活動するにも交通費が大変だとの話があった。北海道も広域だから、同じような問題もあるが、静岡では東京・中部・西部の各地域サ連が活動されてきた経過があるそうで、都道府県レベルもそうだが、地域での活動って重要だと改めて感じた。また一度、自然消滅した県サ連が、県ろう協の打診などもあり再び立ち上げ、活動を始めたといことは、すばらしいことだと思った。

その他の各地の県サ連の状況、情報交換があったが、どの地域も運営費とくに会費参加の交通費のことや、役員に担い手がいないなどの課題をかかえているのだと思った。ある参加者からの、今の手話サークルは手話技術ばかりに関心がいつているが、どうしたらいいのだろうかという提起や、ろう協や通研とそてのかかわりなどについての明日の議論も楽しみだ。一般 北海道

第10分科会

ろう者6人、健聴者28人の参加者です。初めて健康の分科会に参加しました。ろう者と共に学習することが大切という意見が多く出ました。明日はもっと深めて学習できればと思います。一般 滋賀県

健康に関する取り組みを全国の仲間と話しました。様々な話し合いの中で印象に残った事は、ろう者と共に健康を考えるにはどうしたらいいかというテーマで、ろう者と共に話し合えた事でした。

今後、地域で「健康」について、健聴者、ろう者、共に話し合いや学習を積み重ねていける事を願いつつ今日の討論を終えました。司会 愛媛県

1分科会「登録手話通訳者の活動」～

いつもは登録通訳者からの意見が多いですが、今年はろう者からの発言が多く、盛り上がっています。

みなさんの日ごろの活動や思いをたくさん共有したいです。

大阪 司会

北海道ろうあ連盟の情報コミュニケーション部長高嶋正博氏のレポートに基づいて話し合いをしました。

県の登録の在り方、条件、派遣の方法など、研修会の開催などで各県のちがいが解りました。通訳者の技術の問題、ろう者の立場から活発な意見が出ました。

利用者、登録者の立場をコーディネーターを交えて話し合いをしたら解決するのではないのでは？と。

皆さんの県ではどうしていますか？

※蛇足です

電車・新幹線・地下鉄乗り換えてやっと会場につきました。
冬の大会が今回で終りと聞き、初めて参加しました。 [大分県](#)

第1分科会に参加して「登録手話通訳者の活動」で今回は北海道ろうあ連盟の問題点、今後の在り方について聞きました。

登録手話通訳者の更新があること、手話技術を研修する場で都道府県（広域）と市町村（地域）でかたよりがあること等の課題がたくさんあることがわかりました。

都道府県と地域の連携がとても大切であることです。

私は全通研に参加したのは初めてではありませんが、数年ぶりの参加で様々な問題点と課題点を知り、地元の活動の参考に活かしていけたらと思います。

～2分科会「手話通訳派遣コーディネーター業務と役割」～

それぞれの地域での制度、関わり方が違うので、色々な方法を知る事ができて勉強になりました。

各地域の研修のあり方、ろう者との関わり方等、参考になるところは自分の地域でも取り入れていきたいと思っています。 [静岡 一般](#)

前から全通研に参加しようと思ったが、都合が合わなく、今回やっと初参加。地元でも手話通訳派遣室のコーディネーター業務の報告を聞いた事があり、全国のコーディネーター業務の状況はどうなのかと思い、第2分科会を選びました。

コーディネーターの役割が幅広い様な気がしました。さらに専門性も…。派遣後の謝礼金の振込まれること、技術のレベルによってランクみたいに分けていること、ろう者だけでなく通訳者の健康管理、技術向上のための研修、支援ネットワークの構築（ソーシャルワーク）、要項遵守、コミュニケーションスキル等。

自分は実践していない（その仕事をしていない）為、ピンと来なかったので、内容を掴むのに苦労しました。

亡くなられた伊東さんや市川さん、長年活動されている方々が今の全通研、手話通訳制度を築いたことも思い浮かび、この全通研は不可欠なものだと思いました。 [北海道 一般](#)

～3分科会「手話通訳者の専門性を高めるために」～

実体験に基づく話を聞けるので、この集会に参加しました。私自身はまだシミュレーションをしている段階なので、予想してなかった手続きやコーディネーターの方法などの情報が聞けて良かったです。

・明日の集会で望むこと、聞きたいこと

裁判所に聴覚障害者のことや通訳について理解を得るためにどんな工夫をしたのか。

通訳派遣について、大阪では競争入札に不参加であるとのこと。どんな理由でそうしているのか。 [三重 一般](#)

私は5年ぶりに全通研の冬の討論集会に参加しました。

手話通訳者の専門性の分科会に初めて参加しました。

いろいろな講演や話を聞いて、私にとって大切なことがわかりました。

たとえば、講演における手話通訳者の配置について、いろいろな方法があることがわかりました。

次の裁判については、私は民事裁判に出席して、いろいろろうあ者をサポートしてきました。裁判について、いろいろな事例があってよくわかりました。

明日は、もっと意義深い討論を楽しみにしています。

いろいろありがとうございました。 [中国ブロック 一般](#)

昨日は、雪の影響もあり、参加者は40名程でした。

まずは、レポートを報告して頂き、その内容について質疑応答を行いました。

討論は、今日行います。地域の実践や課題をどう捉え、社会に訴え、改善していけるのかを話し合えたら…と思っています。 [佐々木良子 司会](#)

～4分科会「手話通訳者を養成するために」～

参加者91名（ろう54、聴37）
共同研究者のあいさつから分科会がスタート。

今回はレポートが3本出されており、1日目は3本のレポート発表とレポートに対する質疑応答、意見交換を行った。

1本目は京都のふない聴格言語障害センター「ところてんの会」についての報告である。手話奉仕員養成講座修了生を通訳者要請講座受講と統一試験合格につなげるためのセンターのとりくみが紹介された。センター職員の熱意によって運営されているものであるが、その熱意が受講生をも燃やすだろうと思われる。

2本目は、国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科の動画

共有サービス活用についての報告である。動画は手話学習に大きく貢献しているが、かつては動画教材を準備するのに多大な費用と労力が必要だった。ところが近年は記録保存の技術が進歩し、作成も再生も大変手軽にできるようになった。社会の技術をもっと活用しようという内容だった。

3本目は、東京都聴覚障害者連盟ろう手話通訳チームのろう手話通訳者の養成・研修・活動についての報告だった。国際手話通訳や、盲ろう者への通訳、ろう高齢者への通訳などのニーズがあるが、まだまだ新しい分野である。制度化や充実に向けて、十分な検討が待たれる。 [司会](#)

現在「手話言語条例」制定など様々な運動が進められていますが、社会に手話やろう者の問題などを広めるには、人材養成はとても大切なことだと思います。各地で様々なとりくみはされていることを、この分科会に参加することで情報を得て地域での養成に生かせたらと思います。手話通訳やろうあ連盟の皆さんの熱意にはちうも圧倒されています。この一生懸命さが大好きです。 [島根 一般](#)

分科会に参加した理由は、地元でどうやって通訳を育てていくべきかこれが大きな理由だったのですが、実際、資料が届き、内容がすごくレベルアップされていて、とてもついていけない内容だったので、選ぶの間違いだっかなと思いつながら参加しました。ところてん手話サークルの発表では、共感するものがいくつか感じ、いい勉強になりました。 [静岡 一般](#)

～5分科会「専門学校での手話講座」～

この分科会で情報交換し合い、共に考えて、学びあえたことは私の貴重な経験になりました。

2月にこの分科会での気付きを翌年度の授業計画や内容に加えながらの10年間でした。

専門学校等で講師を担当している私たちは、それぞれにたくさんの悩みを抱えて、学生と対応しています。

又、このような場が設けられることを望んでいます。

実行委員の皆さん、お世話になりました。皆さん、又どこかでお会いしましょうね。 [高知 司会](#)

15日（土）1日目の研究レポートの発表を見ました。

私も大学で手話の授業を担当しています。

日々学生さんに何を学んでほしいか、どう育ててほしいか悩んでいます。

レポート報告の中で最後のまとめの中の「ろう者のいる事を意識してほしい」

「どうしたら伝え合えるか工夫する」「自分の気付きを周囲に伝える」この3つの事が、ろう者や手話に対する理解が広がり、社会を変える力になるという話にとっても共感しました。ありがとうございました。今後参考にして指導していきたいと思っています。 [高知 一般](#)

聴者に手話を教える前に、手話だけを教えていいのか？を自分で考える事がポイントである。

ろう者と聴者との違いを事前にまとめ、教えるポイントを決めないといけな

いと感じた。
手話だけ教えれば良いという考え方を捨て、新しい考え方を工夫しなければ

ならないと思いました。 [都道府県不明 一般](#)

～6分科会「手話」～

■都道府県不明 司会

全国各地の手話を知ることができ、参加者のみなさんたいへん盛りあがっていました。

戦争体験の話をDVDにして残すべきだとか、DVDに音楽を入れる時の注意点などの話もあり、興味深い内容でした。

全国の手話表現の違いを知り、手話のできた経緯を知ると「なるほど」と感心しました。

第6分科会は114名の申込みがありました。

■北海道 一般

第6分科会で2つ発表がありました。1つめは、CSTVの役割についてレポート発表でした。今まではCSはニュース、堅いというイメージでしたが、各地域で作られた作品は工夫がされていてとても興味深くみました。残念なことに聞こえる人でシードラゴン又はアイドラゴンを持っている人が少なく、せっかくの良い作品が見ることはできません。これからは国内の法整備がされ、手話条例がひろまればCSももっとひろく全国ネットレベルになればいいと思いました。（お願い）聞こえる方が話す時は、マイクがあってもいいと思いました。 [神奈川 一般](#)

阪神震災後10年前

震災 震度7強

地域手話班

地方の手話

よかった。すばらしい。 [東京 一般](#)

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟／一般社団法人全国手話通訳問題研究会

主管：社団法人大阪聴力障害者協会／大阪手話通訳問題研究会